

琴芝小図書館だより

令和3年10月号
宇部市立琴芝小学校図書館



さわやかな秋晴れが続きますね。秋は読書をするのにぴったりな季節です。休み時間の図書館は毎日たくさんのお子様のみなさんでにぎわっています。中にはもう100冊以上も読んでいらっしゃる本好きさん達もいますよ！

10月27日～11月9日は読書週間です

家で読む本もたくさん借りて来て下さいね。

図書館に来る前と本を読んだ後は手洗いを忘れずに！



読書山ののびを達成して

「しおり」をもらおう♪

本を30冊読むごとに、図書委員さん

特製のしおりをプレゼントしています。

(しおりをもらったら、うらにクラスと

名前を書いておいてくださいね。)



アップサイクルを知っていますか？

リサイクルという言葉は聞いたことがあるかと思いますが、「アップサイクル」は知っていますか？

アップサイクルとは使わなくなったモノにデザインやアイデアを加えて別の新しい製品にすること。琴芝小図書館では古くなって読めなくなった本のページや挿絵、本の帯などをアップサイクルして作ったしおりに切り替えています。たくさん本を読んで、しおりをもらおうと環境活動にも参加していることになりませぬ。

ハロウィン・おばけがでてくるお話

- きょうはハロウィン／平山暉彦／福音館書店
- ハロウィンどきどきおばけの日／ますだゆうこ／文溪堂
- ハロウィンのかぼちゃをかざろう／パトリシア・トート／BL出版
- モリくんのハロウィンカー／かんべあやこ／くもん出版
- ルルとララのハロウィン／あんびるやすこ／岩崎書店
- 妖怪一家のハロウィン／とみやすようこ／理論社
- ドキドキ！おばけのにゅうがくしき／大木あきこ／新日本出版社



など



ハロウィンの由来や外国での風習についても紹介しているので、知りたい人は図書館へ！また、アップサイクル&リサイクル、モノの修理や工作についての本のコーナーもありますよ。



べつ ほん かしだしすう クラス別 本の貸出数ランキング！！



4月から9月までに一番多く本を読んだクラス（1人あたりの貸出数）のトップ5！キミのクラスはどうだったかな？

第1位 2-2 1人あたり 42.2さつ（総数 1,013さつ）



第2位 4-1 1人あたり 41.7さつ

第4位 6-1 1人あたり 34.5さつ

第3位 2-1 1人あたり 38.7さつ

第5位 1-2 1人あたり 32.9さつ

第1位は2年2組「2さつのうち1さつは物語を借りる」ルールを守って、たくさん本を読んでくれてうれしいです。

僅差で2位の4年1組はクラス利用のマナーも本の整頓もキチンとしてくれて、いつもとても助かっています。

本の予約もはじまっていますので、読みたい本がある人はぜひ図書館に来てみてください。



ぼくの！わたしの！おすすめの本！！



「あなたの声がききたい 聴覚障害の両親に育てられて」

この話は、聴覚障害のある両親の間に生まれた加奈子という耳が聞こえる女の子が、ほかの家庭と一緒にではないという壁や差別をのりこえ、両親の深い愛に包まれて成長していくお話（ノンフィクション）です。加奈子が学校に行きたくない時期もやさしく寄り添ってくれたおばあちゃんが亡くなったりして悲しい場面もあるけどとてもいいお話だと思いました。現在、加奈子は手話のできる看護師として活躍しているそうです。



【6年1組 早川 幸咲さん】

ふしぎなものが好きな人に私がおすすめするのは「ふしぎ駄菓子屋 銭天堂」

銭天堂のお菓子を食べた人はいろんな能力をえることができますが、その後その人にいったい何がおこるのか…。

1つのお菓子につき1話にまとめてあるから短時間で読めるし、分からない漢字も読み方が書いてあるので読みやすいです。話のなかに出てくるお菓子が表紙にあるのをみつけるのもおもしろいですよ。



【6年2組 高澤 花菜さん】

私は「アルプスの少女ハイジ」という本をおすすめします。アルプスに住むことになったハイジはペーター一家と出あい、楽しい日々をおくっていました。ところがとつぜん、とかいのおやしきにつれていかれます。おやしきでもさいしょは楽しくくらしていましたがアルプスがこいしくなり、その後体調をくずしてしまいます。ある日、おやしきにゆうれいが…！ハイジはアルプスに帰れるのでしょうか？！ハラハラドキドキの本です。



字も大きくてとうじょう人物のしょうかいのところも楽しいです。ぜひこの本を読んでみてください。

【3年1組 末本 しおんさん】

